

第3学年1組総合学習指導案

単元名 白秋先生の詩の世界を探検して、音楽祭を楽しもう

主眼 「りんりん林檎の」詩を読んで、①「待っている」というテーマ、②語尾「か」、③林檎の色、④8・5調の繰り返しなど白秋の詩の特徴をつかみ、歌い方の工夫へとつなぐ。

【準備する物】○りんりん林檎の詩(前時プリント)、○赤い鳥の挿し絵拡大図
○フラッシュカード「ましょか」「りんりんりんごのきのしたに」(□に入れて語数を確認)

○ノート、○「りんりん林檎の」楽譜

実施日 10月4日 第1校時

	学習活動	活用するための手だて
	<p>1 「りんりん林檎の」詩を読んで、本物の挿し絵と自分が描いたものを見比べて、めあてをつかむ。</p> <p>(1)詩を読んで、プリントの上の方に挿し絵を描く。</p> <p>(2)赤い鳥に載っていた本物の挿し絵(拡大図)と自分が描いた絵とを比べて、ちがいを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、あきうどを描いていなかった。 ・小さなお家ではなく、大きな家になっていた。 <p>(3)詩の秘密をさがす、めあてをつかむ。</p>	<p>・本物の挿し絵を隠して印刷しておく。</p>
	<p>「りんりん林檎の」の詩にかくれている白秋先生のひみつやしかけをさがそう。</p>	
	<p>2 「りんりん林檎の」詩の中に、どんなひみつやしかけがあるかを予想する。</p> <p>(1)「ひみつ」「しかけ」の意味を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひみつ＝人に見せたり教えたりしないで、隠していること。 ・しかけ＝じょうずに工夫すること。 <p>(2)「りんりん林檎の」詩を読んで、「ひみつ」「しかけ」を具体的に予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白秋先生は、林檎が好きなのかな？ ・文の終わりに「か」をよく使っている。 ・8音と5音からできている。 ・5つの連に共通なことは？ 	<p>○「しかけ」「ひみつ」という言葉をはっきりさせるために、今までに使ったことや学習で出てきたことを思い出して、発表するように勧める。</p>
	<p>3 一人一人が書いた予想を発表して、どんなひみつやしかけがあるかを交流する。</p> <p>【白秋先生の好きな物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林檎、雪、暖炉(ストーブ) <p>【詩のテーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さん(待っている) ・…つぐみ(冬鳥)、商人、雪、 <p>【表現の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調子・リズム…8・5調 ・語尾「か」…「ましょか」の繰り返し <p>※ほかにも語尾によく使う言葉さがしをする。</p>	<p>・子どもの発表を白秋の年譜と一体化する補説により価値づける。</p> <p>・音数を確かめるために、□を書いた中に字を入れて8・5調であることを気づかせる。</p>
	<p>4 白秋先生のひみつとしかけを学習してのまとめをノートに書き、次の予定を聞く。</p> <p>(1)「白秋先生のひみつとしかけは、……」の書き出しでノートに書く。</p> <p>(2)楽譜をもらって、次の予定を聞く。</p>	